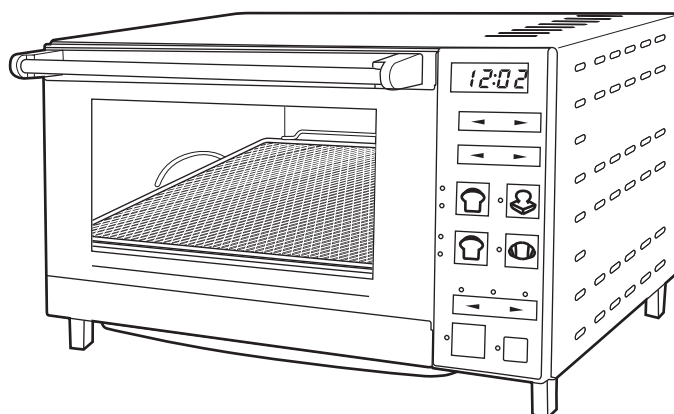


マイコンオーブントースター DOT-1202

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあと、もいつでも見られるように大切に保存してください。



も く じ

安全上のご注意	 P 1 ~ 2
各部の名称とはたらき	 P 3
正しい使いかた	 P 4 ~ 9
上手に使うコツ	 P 10
使いこなしのコツ	 P10
お手入れと保存	 P 11 ~ 12
修理・サービスを依頼する前に	 P 13
アフターサービスについて	 裏表紙
保証書	 裏表紙

仕 様

型 名	DOT-1202
電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	1000W
タイマー	30 分デジタルタイマー
電源コード長さ	約 1.1m
外形寸法	約 幅 380 × 奥行 330 × 高さ 220mm
有効寸法 (庫内)	約 幅 260 × 奥行 250 × 高さ 90mm
質 量	約 3.5kg (受け皿除く)
温度調節	80 °C ~ 230 °C
付属品	受け皿 × 1

- 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

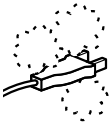
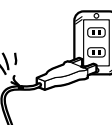
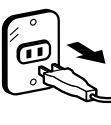
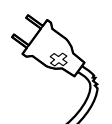
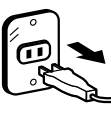
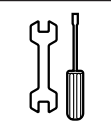
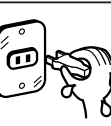
- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

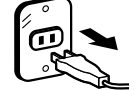
図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

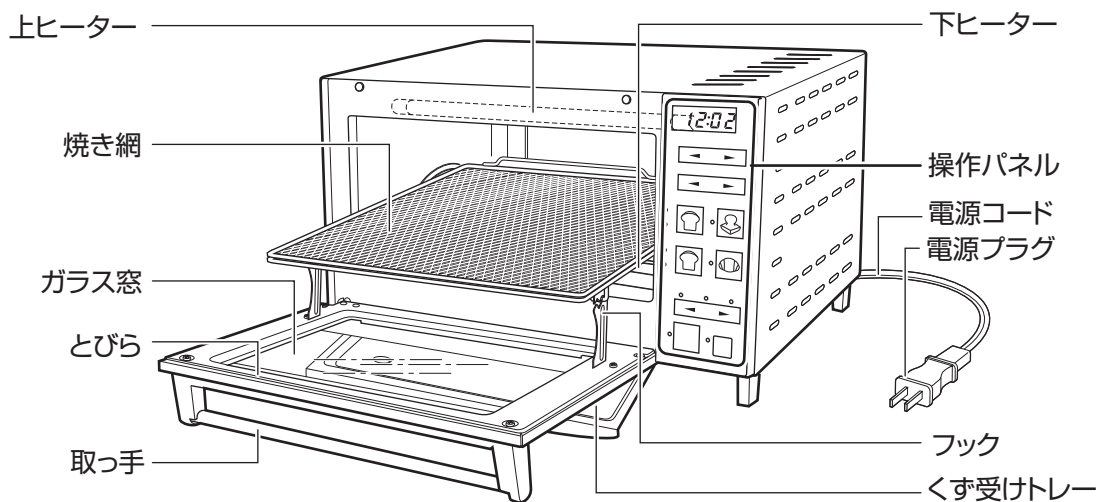
 禁止	 交流 100 V 以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 指示	 電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	 プラグを抜く	 使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		 お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。	 分解禁止	 分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
	 本体にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電や異常動作してけがの原因になります。	 ぬれ手禁止	 ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
 使用禁止	 異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。	 水ぬれ禁止	 本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
 指示	 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。	 禁止	 受け皿やくす受けトレイに油を入れて使わない。 火災の原因になります。
	 定格 15 A 以上のコンセントを単独で使う。 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。		 カーテンなどの可燃物の近くで使わない。 火災の原因になることがあります。

⚠ 注意

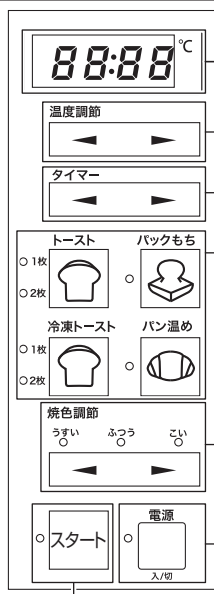
 禁止	 壁や家具の近くで使わない。 蒸気や熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因になることがあります。	 禁止	 生の魚や肉を受け皿なしで直接加熱しない。また、揚げものなど油の出るものを受け皿なしで加熱しない。 発火して、火災の原因になることがあります。
	 バターを塗ったパンを焼かない。 発火して火災の原因になることがあります。		 必要以上に加熱しない。 発火して、火災の原因になることがあります。
	 使用中は本体から離れない。 調理物が発火して、火災の原因になることがあります。		とびらを開けたまま調理しない。 調理物が発火し、火災の原因になることがあります。
	調理以外の目的に使わない。 火災の原因になることがあります。		 使用中や使用後しばらくは、金属部やガラス窓に触れない。 やけどの原因になることがあります。
 指示	 お手入れや持ち運び、保存の際は、本体が冷めてから行う。 火災ややけどの原因になることがあります。	 指示	本体の上や下に物を置かない。 本体や物の変形・変質したり、火災の原因になります。
 プラグを抜く	 調理物が発煙・発火したときは、電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグを抜く。 火災の原因になることがあります。(炎が大きくなることがありますので、ドアを開けないでください。ガラスが割れることがありますので、水をかけないでください。)		ビン・缶詰などを直接加熱しない。 破裂や赤熱してけがややけどの原因になります。
 禁止	使用後、電源コードを本体に巻き付けない。 コードが破損し、火災・感電の原因になることがあります。		 調理くずが残らないよう、こまめにお手入れする。 火災の原因になることがあります。
 指示	 電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電やショートの原因になることがあります。	 指示	必ず、くず受けトレイをセットして使う。 はずして使うと 火災の原因になります。
 禁止	 不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。 けがや火災の原因になることがあります。		

各部の名称とはたらき

本体



操作パネル



表示窓

温度調節ボタン

タイマー設定ボタン

自動調理ボタン

焼き色調節ボタン

電源ボタン

スタートボタン

- 温度表示の時は、[°C] が点灯します。
- 時間表示の時は、[:] が点灯します。

◀ 調理温度を下げる 調理温度を上げる ▶
80, 140, 160, 180, 200, 230(°C)に設定できます。

◀ 時間設定を減らす 時間設定を増やす ▶
30秒単位で30分まで設定できます。長押しすると1分単位で設定。

トーストを焼く (1枚/2枚切替) もちを焼く

冷凍トーストを焼く (1枚/2枚切替) パンを温める

[トースト][冷凍トースト] ボタンは押すたびに1枚・2枚のランプが切替点灯します

◀ 焼目をうすくする 焼目をこくする ▶
押すたびに焼き色調節ランプ[うすい]・[ふつう]・[こい]が変化します。

- 調理開始前に押して、左の電源ランプを点灯させます。
- 調理終了後に押して、左の電源ランプを消灯させます。
- 調理がスタートします。
- スタートボタンを押して30秒以内には焼き色調節を変更することができます。変更後は再度スタートボタンを押してください。

安全装置について

- 温度が上昇しすぎると、過熱防止のため温度調節機能が働き、自動的に運転を停止する場合があります。温度が下がると運転を開始します。(ヒーターが消えていても、故障ではありません。)
- 連続運転の際は、ヒーターの消える回数が増えるため、調理時間が長くなることがあります。

受け皿とくず受けトレイの使用方法

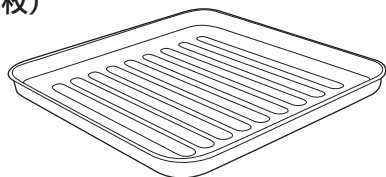
⚠ 警告

- 受け皿やくず受けトレイに油を入れて使わない。(火災の原因になります。)

⚠ 注意

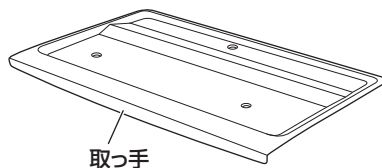
- 受け皿やくず受けトレイはヒーターの上に直接置かない。(故障の原因になります。)

受け皿 (1枚)
(付属品)



- ケーキやパンなどの材料をのせ、焼き網の上にのせて使います。
- アルミホイルを敷くと汚れにくくなります。

くず受けトレイ (1枚) (必ずセットしてお使いください。)



- 庫内の底部に差し込み、調理のときに出るくずを受けます。
- 取っ手を手前にして、奥まで確実に差し込んでください。

⚠ 注意

- 受け皿やくず受けトレイは、汚れたら必ずお手入れしてから使う。
(11 ページ「お手入れと保存」参照)

正しい使いかた

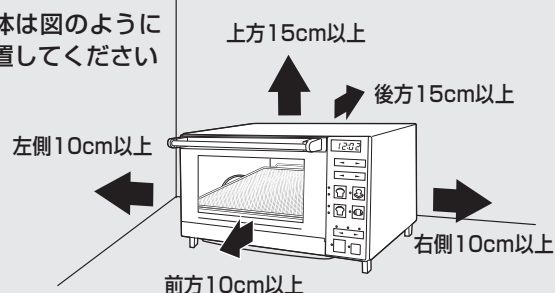
使用前の準備

1. 本体を正しく設置する

- 安定した水平な台の上に設置してください。

- 本体は壁や周囲から適当な距離を保ってください。
(火災の原因になります。)

本体は図のように
設置してください

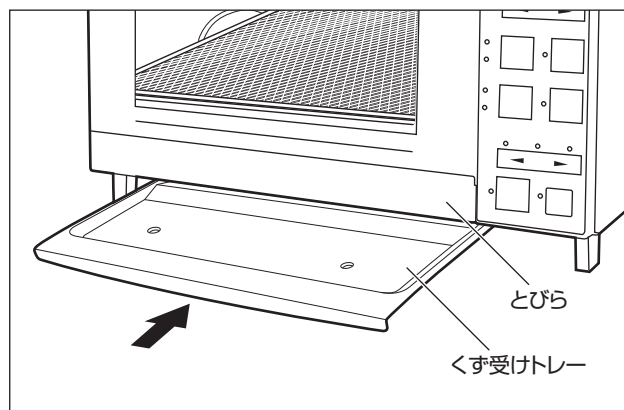


次のような場所では使用しないでください。

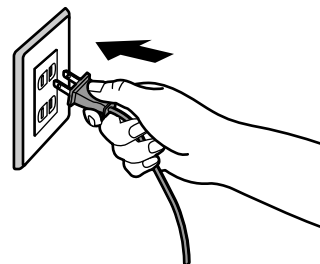
- カーテンや壁、家具など、可燃物の近く。
- 熱に弱い敷物の上。

2. くず受けトレイを差し込む

くず受けトレイを下ヒーターより下の庫内底部に差し込みます。



3. 電源プラグをコンセントに差し込む



次の症状は使用上支障ありません

- はじめてご使用になるときは、においや煙が出ることがありますが、故障ではありません。ご使用にともない出なくなります。
- 使用中や使用直後は金属音がすることがありますが、ヒーターの熱膨張によるものです。

正しい使いかた（つづき）

調理物の入れかた

1. 調理物を庫内に入れる

調理物を庫内の焼き網の上にのせます。

- ・庫内に調理物以外のものが入っていないことを確認してください。
- ・調理する調理物に合わせて、受け皿を使ってください。
- ・表面が焦げやすいときは、調理物の上にアルミホイルをかけてください。
- ・調理物は焼き網の中央に均等に置いてください。
- ・メニュー時間は材料の温度、量、種類などの条件によって変わります。様子を確認し、時間を調節してください。



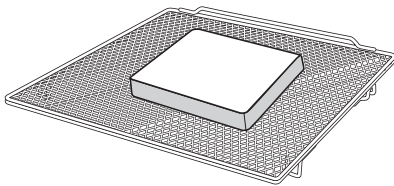
注意

- ・ジャムなどを塗ったパンを焼かない。
焼き時間が変わります。
- ・揚げものは調理済みのものを再加熱のみとし、必ず受け皿を使用する。
- ・生の魚や肉および汁気や油が出たり飛んだりする調理物は、アルミホイルで包んでから、必ず受け皿を使用する。

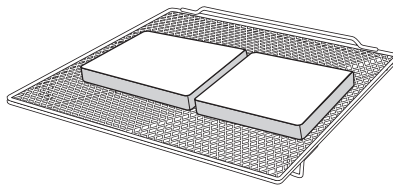
- ・食パンを焼くと、調理中ガラス窓に水滴がつくことがあります。使用上問題ありません。
食パン内部の水分が出てくるためです。他の食材でも水分の多いものは、水滴がつく場合があります。
- ・調理物は焼き網の中央に均等に置いてください。（奥に片寄ると奥側の焼目が薄くなる場合があります。）
- ・4枚焼きの時のパンの標準サイズは120×110mmです。それ以上のパンは入らない場合があります。その際は、数を減らして焼いてください。マニュアル調理の場合、焼きムラができる場合があります。

〈トースト 6枚切〉

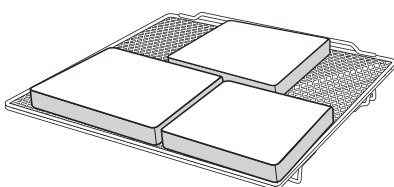
1枚焼きの場合



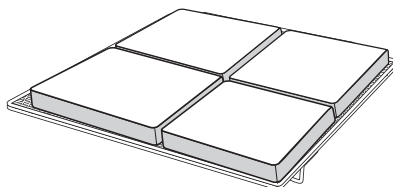
2枚焼きの場合



3枚焼きの場合



4枚焼きの場合



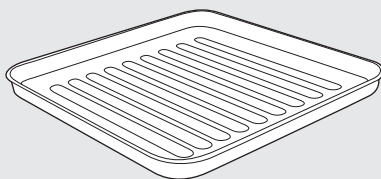
- ・1枚～2枚焼きの場合、自動調理を選べます。
- ・3枚焼き以上の場合、マニュアル調理を選んでください。

冷凍食品を温めるとき

- ・冷凍食品を調理するときは、「オーブントースター用」の冷凍食品を使用してください。
- ・冷凍食品のパッケージの注意事項に従ってください。
- ・調理物やメーカーにより焼け具合に差がありますので、必ず焼き具合を見ながら調理時間を設定してください。

受け皿の使いかた

受け皿



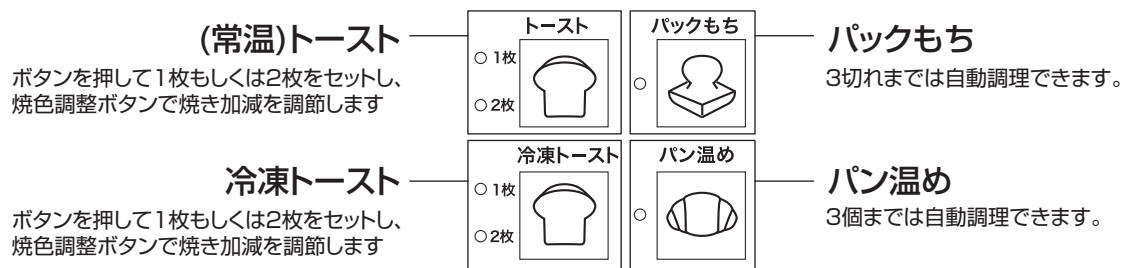
- ・生の魚や肉および汁気や油が出たり飛んだりする調理物には必ずお使いください。
- ・油が飛び散りやすい調理物はアルミホイルで包んでから、受け皿にのせてください。
- ・アルミホイルを敷くと調理物などが取り出しやすく、汚れにくくなります。
- ・調理物を入れない空焼きはしないでください。
- ・受け皿は焼き網にきっちり押し込んで使用してください。

ヒーターの通電

- ・庫内の温度は温度調節機能により、自動的にヒーターが入・切をする場合があります。ヒーターが消えているように見えても問題ありません。
- ・温度調節機能が働くときに音がある場合がありますが、故障ではありません。

自動調理のしかた

調理物を入れ、調理物にあった数量の設定をするだけで自動で調理することができます。



※自動調理・時間の目安（7ページ）参照

自動調理の手順

1. 電源プラグを差し込み、調理物を中央に、均等に入れる

- ・「調理物の入れかた」（5ページ）を参考に、調理物を入れてください。
- ・トースト3枚以上・パン温め4個以上はマニュアル調理してください。
- ・「パックもち」は3切れまでは自動調理できます。4切れ以上はマニュアル調理ですが、触れ合わないよう注意してください。

2. 電源ボタンを押す

- ・「ピッ」と音がして、電源ボタン左隣の電源ランプが点灯します。
- ・表示窓は「—：—」表示になります。

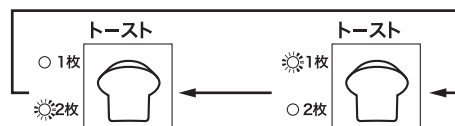
3. 調理物に合わせた自動調理ボタンを押す

- ・[トースト]、[冷凍トースト]は自動調理ボタンを押すたびに1枚・2枚のランプが切り替わります。
- ・[パックもち]、[パン温め]は自動調理ボタンを押して、ランプが点灯するのを確認します。

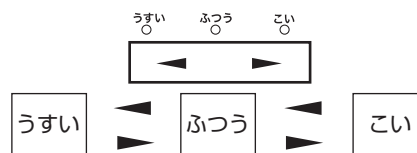
4. 焼色調節ボタンで焼き色の調節をする

- ・焼き色の調節をするには、自動調理ボタンを押してから焼色調節ボタンを押して設定してください
- ・通常「ふつう」に設定されますが、お好みにより、「焼色調節ボタン」で焼き加減をこくする（こい）・うすくする（うすい）ことができます。
- ・[パックもち]・[パン温め]は、焼目調節はできません。

〈例〉



焼目調節
ボタン



5. スタートボタンを押して調理を開始する

スタートボタンを押してから30秒間以内は焼色調節ボタンの再操作が可能です。変更後は再度スタートボタンを押してください。（30秒間は表示が変化しません。30秒を過ぎた時点でカウントダウンを開始します。）



- ・調理枚数・個数に合ったボタンを押す。
- ・使用中は本体から離れない。
- ・必要以上に加熱しない。

正しい使いかた（つづき）

こんなときは・・・

- ・調理が開始されたあとやりなおしたい場合（カウントダウン開始後）
一度電源ボタンを押して、調理を中止させ（ランプ消灯）、もう一度手順 2 から操作をやりなおします。
→調理を中止させた進行具合によっては、仕上がりの焼き色に影響が出ます。
- ・調理を途中で終える場合
ガラス窓から調理具合を確認して、途中で調理を終了させる場合は、電源ボタンを押して、調理を止めてください（ランプが消灯します）。
- ・調理が開始される前に自動調理をやめる場合
調理自体をやめる場合は、電源ボタンを押します。

6. 調理が終わるとブザーが3回鳴る

- ・調理を途中で終えた場合は、ブザーは鳴りません。

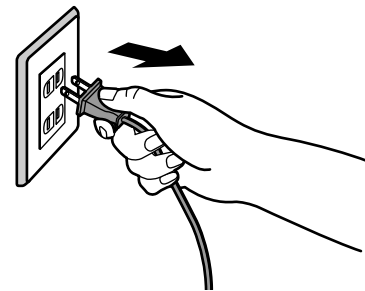
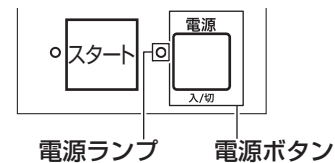
7. 調理物を取り出す

- ・やけどをしないように十分注意しミトンなどを使って調理物を引き出してください。（9 ページ参照）
- ・調理の出来上がりを確認してください。

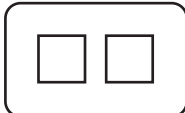
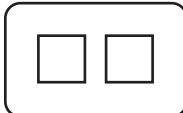
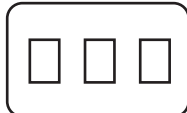
8. 続けて自動調理をする場合は手順 3 に戻ってセットしなおす

- ・改めて調理物をセットする前に、前回の調理のよごれなどある場合は、清掃してください。そのまま調理を始めると、燃えるなどして事故の原因になります。
- ・庫内は熱いため、冷めてから清掃してください。
- ・庫内を十分冷してから使用してください。冷めていない場合、調理不足や焼色がうすくなる場合があります。

9. 調理を終えたら、電源ボタンを押して電源ランプが消灯したのを確認し、電源プラグをコンセントから抜く



自動調理・時間の目安

自動調理ボタン		トースト 			冷凍トースト 			パックもち 		パン温め 	
数量		1 枚・2 枚 1 枚～2 枚			1 枚・2 枚 1 枚～2 枚			3 切れ		3 個	
入れかた（ならべかた）											
		1 枚のときは中央に置く			1 枚のときは中央に置く			離して中央に置く		中央に置く	
焼き色調節 （分：秒）	1 枚	うすい	ふつう	こい	うすい	ふつう	こい	ふつう		ふつう	
	2 枚	2:40	3:10	3:30	3:00	3:50	4:10	5:00		2:00	
	（枚数）	自動調理ボタンによる			自動調理ボタンによる			3		3	
注意すること		6 枚切基準。厚いトーストは上面が比較的「こく」焼けます						うまく焼けない時は、マニュアル調理で、ガラス窓から確認しながら焼いてください。		冷凍されている場合は、マニュアル調理で調理してください。	
								※余熱調理をしています。その場合、ヒーターが消えています。故障ではありません。			

マニュアル調理のしかた

調理物を入れ、調理物にあった調理温度と時間の設定をして調理をします。

1. 電源プラグを差し込み、調理物を中央に、均等に入れる

- ・「調理物の入れかた」(5 ページ参照) 調理物を入れてください。
- ・汁の出る調理物は、トレーを使用してください。

2. 電源ボタンを押す

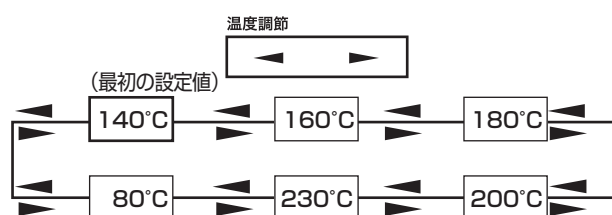
- ・「ピッ」と音がして、電源ボタン左隣の電源ランプが点灯します。
- ・表示窓は「— : —」表示になります。

3. 調理温度を設定する(°Cが点灯)

温度調節ボタンは「上手に使うコツ」(10ページ)を参考に合わせてください。右図のように最低80°C、最高230°Cで、あらかじめ設定された温度があります

※ 調理温度は調理物に合った適切な温度に合わせてください。

※ 調理温度によりヒーターの明るさが違うのは故障ではありません。



4. タイマーを設定する

タイマー設定ボタンで調理時間を設定します。

- ・タイマーは、最短 30 秒から最長 30 分まで 30 秒単位で設定することができます。
- ・タイマー設定ボタンを一度押すと 30 秒ずつ増減しますが、長押しすると 1 分ずつ増減します。

5. スタートボタンを押して調理を開始する

スタートボタンを押すと、調理が開始されます。30 秒後にカウントダウン表示を開始します。

- ・スタートボタン左側のランプが点滅から点灯に変わります。
- ・スタートボタンを押してから 30 秒以内は調理温度、タイマーを変更することができます。

※ 30 秒を超えてからの変更はできません。変更したい場合は、一度電源ボタンを押して電源を切り、手順 2 から設定しなおしてください。



注意

- ・使用中は本体から離れない。
- ・必要以上に加熱しない。
- ・使用中や使用後しばらくは、金属部やガラス窓に触れない。
- ・耐熱皿など重いものを使用される場合は、焼き網の中央に置いてください。後方に置くと、焼き網がはずれる場合があります。

正しい使いかた（つづき）

6. 調理が終わるとブザーが3回鳴る

- ・調理を途中で終えた場合は、ブザーは鳴りません。

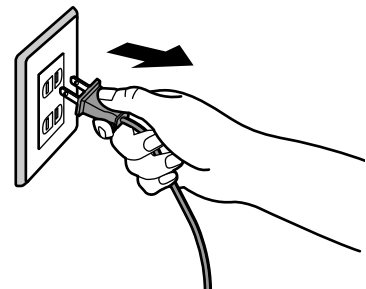
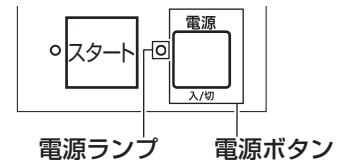
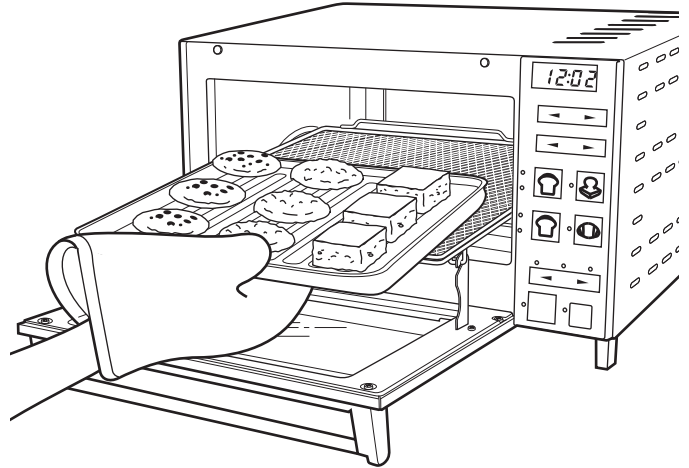
7. 調理物を取り出す

- ・やけどをしないように十分注意しミトンなどを使って引き出してください。
- ・調理のあとに取り出した受け皿は、濡れた布や鍋敷きなどを敷いた上に置いてください。直接台の上に置くと、台の変色や変形の原因になります。
- ・調理直後に、受け皿やくず受けトレーに水をかけて急激に冷やすと、変形したりする恐れがあります。
- ・庫内はこまめに掃除してください。（調理くずが発火して、火災の原因となります。）

8. 続けてマニュアル調理をする場合は手順2に戻ってセットしなおす

- ・改めて調理物をセットする前に、前回の調理のよごれなどある場合は、清掃してください。そのまま調理を始めると、燃えるなどして事故の原因になります。
- ・庫内は熱いため、冷めてから清掃してください。

9. 調理を終えたら、電源ボタンを押して電源ランプが消灯したのを確認し、電源プラグをコンセントから抜く



上手に使うコツ

メニュー例	目安時間(約)分	受け皿	調理温度	ポイント
ピザ(冷蔵)	5～10	必要	230℃	受け皿にアルミホイルを敷く
ホットドック	3～6	—	230℃	調理した具によって調理時間は異なります
冷凍調理済フライドポテト	8～12	必要	180℃	受け皿にアルミホイルを敷く
チキンナゲット(冷蔵)	4～7	必要	180℃	受け皿にアルミホイルを敷く
焼きいも	25～30	—	230℃	アルミホイルに包む。大きさによって半分にしたりして調理時間を調整してください

- 時間は調理物の温度、質、量などで異なります。出来具合を見ながら加減してください。
- 連続して焼く場合は、2回目からは、やや短めに時間をセットしてください。
- トーストは厚切りの場合下側の焼色が薄くなります。
- 餅は種類により膨れ具合や表裏の焼き色が異なります。

- 餅の表裏が焼けていて、内部が固い場合は、余熱のある庫内に1～2分入れてください。
- うす切りの餅は焦げやすいので調理時間を短くしてください。
- つきたての餅はマニュアル調理でお好みの焼色に調理してください。

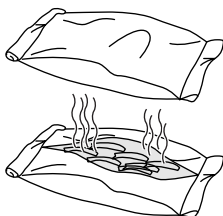
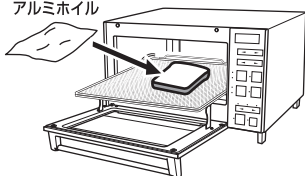
使いこなしのコツ

アルミホイルを使って

油が飛び散りやすいものは全体をアルミホイルに包んで調理してください。

表面が焦げる時はアルミホイルをかけて焼き具合を見ながら調理しましょう。また、ホイル焼きなども手軽にできます。

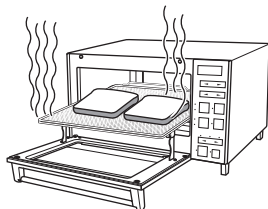
アルミホイル



後片づけも簡単になります。

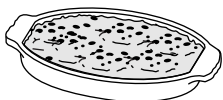
調理中のとびらの開け閉めは控えめに

仕上がりに影響し、時間がかかる上、電気のムダ使いにもなります。



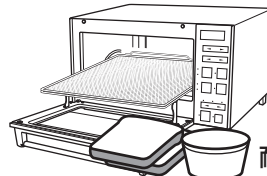
残り物を上手に使う

冷蔵庫の残り物を使ってグラタン風の一品を作りましょう。市販のソース類、冷凍野菜などを使うとお手軽に調理できます。ジャガイモを下ゆでしている時間のない時は、冷凍フライドポテトを利用すると便利です。



時間を上手に使う

忙しい朝などに、パンとおかずを一緒に加熱します。パンの焼け具合を見て、焼けたらパンを先に取り出します。



耐熱容器

受け皿を使って

焼き網から落ちやすい大きさ・形がくずれやすいもの(つきたてのもちなど)・具がこぼれるおそれがあるものは受け皿を使用してください。

受け皿にアルミホイルを敷くと調理物などが取り出しやすく、汚れにくくなります。

続けて加熱するときは時間を少し短めに

すでにヒーターが温まっていますから、1分位短めにセットして仕上がりをみましょう。

クッキー作りのポイント

生地は厚さ5mm程度に均一に伸ばし、直径3～4cmくらいの小さめの型で抜きます。受け皿に適度な間隔で並べます。



お手入れと保存



警告

受け皿やくず受けトレーに油を入れて使わない。(本体を水につけたり、水をかけたりしない。ショート・感電の恐れがあります。火災の原因になります。)



注意

お手入れの際は、本体が冷えていることを確認し、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
感電・けが・やけど・火災の原因になります。

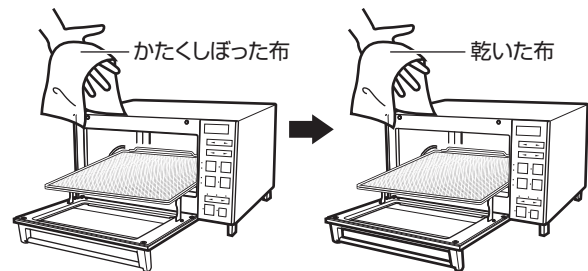
本体

外側

水またはぬるま湯か台所用中性洗剤を入れた水またはぬるま湯に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをします。

庫内

くず受けトレーを引き出したあと、水またはぬるま湯か台所用中性洗剤を入れた水またはぬるま湯に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをします。



ガラス窓

- ・ 汚れのひどいときは台所用中性洗剤を入れた水またはぬるま湯に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをします。
- ・ 急激に冷やさないでください。
- ・ キズをつけないでください。
- ・ 強い衝撃を与えないでください。

受け皿とくず受けトレー

台所用中性洗剤を入れた水またはぬるま湯で洗い、乾いた布で水気をふき取ります。

- ・ たわしや金属性のへらなどを使わないでください。キズがつく恐れがあります。
- ・ 受け皿が熱いときは、水で急激に冷やさないでください。変形する恐れがあります。
- ・ くず受けトレーは、お手入れをしたあと、必ず庫内底部に差し込んでください。

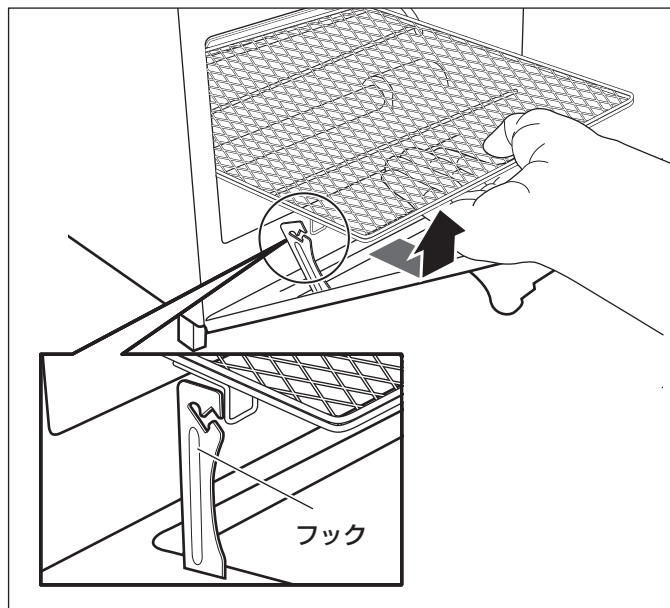


焼き網

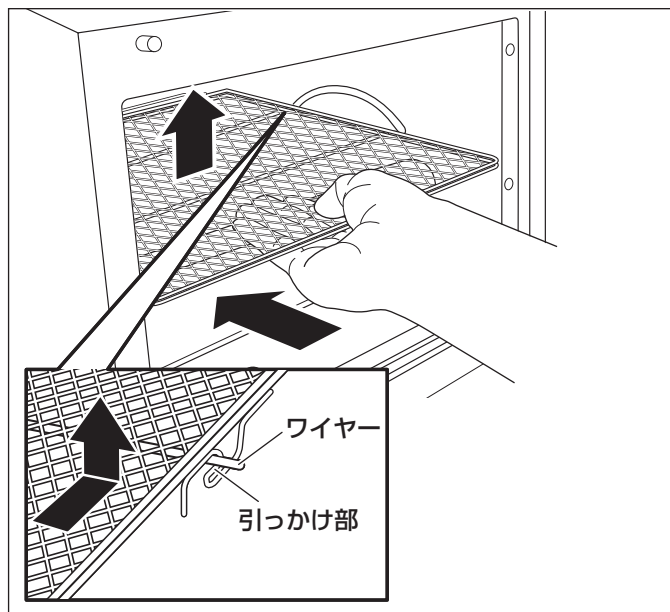
焼き網を本体からはずしてから、台所用中性洗剤を入れた水またはぬるま湯で洗い、乾いた布で水気をふき取ります。

焼き網のはずしかた

- ① とびらの取っ手を支えながら焼き網を手前へ引くようにして焼き網からとびらのフックをはずします。



- ② 焼き網の手前を持って、奥へ押すように持ち上げて手前に取り出します。



焼き網の取り付けかた

- ① 焼き網の手前を持って、庫内奥のワイヤーに焼き網の引っ掛け部を引っかけます。
- ② 焼き網を手前に引き出し、反対の手でとびらの取っ手を持ち上げながら、とびらのフックに焼き網を引っかけます。

お願い

- ・住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使用しないでください。
- ・化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きにしたがってください。
- ・本体は水をかけて洗わないでください。(感電・故障の原因になります。)

保存のしかた

- ・お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ・ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。

修理・サービスを依頼する前に



警告 修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
温まらない	・ 調理がスタートしていない	スタートボタンを押してください
	・ 電源プラグが差し込まれていない	電源プラグをしっかり差し込む
ヒーターが消えたりついたりする	・ 温度調節機能が働いている	故障ではありません（3 ページ参照）
自動調理中ヒーターが消えている	・ 余熱運転をしている	自動調理中、余熱運転をしているので故障ではありません（7 ページ参照）
焼きムラがひどい	・ くず受けトレイが汚れている	くず受けトレイの汚れを落としてください
	・ 食材の置く位置がズレている	食材を正しい位置に置いてください
スタートボタンを押しても調理が始まらない	・ タイマー設定していない	タイマー設定ボタンでタイマーをセットしてスタートさせてください
自動調理で異常に焼色が「うすい」「こい」調理になった	・ 常温／冷凍のちがい、枚数の設定をまちがえている	枚数設定など正しくセットしてください
	・ くず受けトレイや庫内が汚れている	くず受けトレイや庫内の汚れを落としてください
	・ 連続使用されると庫内温度が上がり、とても「うすい」調理になる場合があります	扉を開けて庫内を十分冷ましてからマニュアル調理でお好みの焼色に調理してください
庫内が変色する	・ ご使用とともに変色する場合があります	熱によるもので、ご使用に問題はございません

長年ご使用のオーブントースターはよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・ こげ臭い匂いがする。
- ・ その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

MEMO